



三 宮 十五郎 議員

保育料は値上げをせず、 子育て支援で定住化促進を

問

子育て支援を、市政の中心課題にさらに引き上げることについて、次の事項を聞く。

- (1) 他市で少子化が進む中で、市は5歳以下が5%減少で済んでいるのは、乳幼児を含む子育て支援の長年の努力の結果だと見ている。こつした少子化に対する努力を、今後も引き続き発展させていくことをどう考えているか。
- (2) 固定資産税の増加等、子育てするなら弥富ということに住み着いてもらうことが、今日の市の財政を潤す大きな要因になっていると思うがどうか。
- (3) 保育料は、値上げすべきではない。市に定住して子育てを頑張っている人と力を合わせ、市を発展させ

ていく立場に立った保育料の検討をしっかりとしてほしいがどうか。

負担増も含め 保育料を検討する

答 市長

(1) いかにも市の人口減少を食い止めていくかは、大変重要な施策である。

市としては、さまざまな子育て支援という形で、例えば中学3年生までの医療費無料化を中心として現在までやってきた。

保育料も15年間にわたり据え置いている。16年当時、国県合わせて約1億8千万円だった補助金が、現在は約4千万円である。何とか乗り切ってきたのも、子育て支援の一環だと思っ

ている。

- (2) 平島地区の区画整理事業が大きく貢献し、新しい転入者に対する固定資産税の増加は、その通りである。
- (3) 今回、保育料等検討委員会を立ち上げた。

委員会で、保

育料(値上げ)は県平均より下げるべきである、延長保育は受益者負担でよいという意見があった。


子育て世代の保護者を取り巻く環境は、大変厳しい現状である。市としてさらなる行政改革、税収確保に努めなければならぬ。

財政が厳しい状況において、さまざまな事業を執行していかなければならない。市民に負担

増やサービス低下、そんな痛みをお願いする場合も今後にはある。
そういったことも付け加えながら、総合的に保育料を検討していきたい。

市ホームページ

子育てするなら 弥富市へ



Yatomi

弥富市では、現在中学校の年生までのお子さんは医療費が無料です。また、子育て支援センターや児童館、保育所なども充実していて、子どもを育てやすいまちとして子育てを応援します。

- ◆ 子どもの医療費を助成します
 子ども医療費支給事業
- ◆ 各種手当の支給をして子育ての応援をします
 子ども手当
 児童扶養手当
 特別児童扶養手当
 愛知県遺児手当
 弥富市遺児手当
- ◆ 「はくみんカード」を配布し、子育て家庭を地域で支えます
 子育て家庭優待事業